

浜北区役所跡地等スマート化事業

事業提案書

積水ハウス株式会社 静岡シャーメゾン支店

I 「浜松版スマートシティ」のモデルとなりうるまちづくりであること

本事業を通じて、当該地周辺を含めたにぎわい創出や居住環境の向上を図ることで地域住民の皆様の期待に応えると共に、「浜松版スマートシティ」の実現に向け、自立分散型エネルギーをベースとするスマートコミュニティモデルの構築を目指して、次の5つの方針を掲げます。

スマートなエネルギー活用

戸建・賃貸の住戸は全て「ZEH」※、商業施設も省エネ・創エネを積極的に実施します。 ⇒主に様式13

- 豊富な日照を活かしたエネルギーの自給自足に積極的に取り組み、戸建・賃貸の住戸は全て「ZEH」とします。
- 戸建住宅のモデル棟には太陽電池・燃料電池・蓄電池の3電池を推奨し、省エネと防災を両立する住まいのモデルを提示します。
- 商業施設においても、省エネ設備や太陽光発電パネルを積極的に採用し、スマートなエネルギー活用に努めます。

※ 国のZEH定義に基づき、「ZEH」には「Nearly ZEH」を含む。



商業施設の店内外において省エネ・創エネの取り組みを実施

地域のにぎわい創出

複合開発の実績を活かした、持続性のあるにぎわい創出に努めます。 ⇒主に様式6

- 積水ハウスのこれまでの複合開発の実績を活かして、一過性ではない、持続性のあるにぎわい創出に努めます。
- 商業施設には地元ゆかりの『株式会社ビッグ富士』を誘致。地元愛あふれる企業ならではの、地産地消や地域の雇用創出に向けた意欲的な取り組みをもって、当該地のみならず、浜北区、さらには浜松市全体の活性化を図ります。



複合開発・コンパクトシティ「コモンステージ ミラまち」の開発実績



地元ゆかりの『株式会社ビッグ富士』による地域貢献、にぎわい創出

地域の災害対応力の強化

南海トラフ巨大地震など大規模災害に備え、防災拠点としての機能を持たせます。 ⇒主に様式12

- 浜松市と災害協定を結び、災害時には商業施設の駐車場スペースの開放や水・食料の提供など、地域住民の安心を支えます。
- 商業施設の北側にフットパスを整備することで既存の浜北体育館との連携を取りやすくし、防災拠点としての機能を高めます。



設置予定の「かまどベンチ」や「災害用トイレ」「雨水タンク」



商業施設は、災害時には常夜灯となり地域に安心をもたらす

緑豊かな都市景観の形成

地域に根差した植栽や天竜材を活かした建物建築を行います。 ⇒主に様式11

- 戸建住宅はもちろん、賃貸・商業施設においても、日本の在来種を中心に植樹するなど、近隣の自然環境と響きあう緑豊かなまちなみを創出し、地域住民にもうるおいをもたらします。
- 地域材の「天竜材」を木造住宅「シャーウッド」の集成材に活用。地産地消を推進します。



日本の在来種を中心に植栽する『5本の樹』計画による緑豊かな環境づくり



浜松の地域材「天竜材」を木造住宅の集成材に活用

コミュニティの醸成

防災イベントを軸に地域住民との関係を醸成します。 ⇒主に様式12

- まちびらきは「防災の日」(9月1日)とし、計画地内の公園にて防災イベントを実施。住民同士の「はじめまして」をお手伝いします。以降も、浜北体育館等の地域拠点で防災イベントを計画します。
- 賃貸住宅の美しい外観はまちの財産となり、また、多様な世帯をこの地に招き入れます。
- 人生100年時代を見据えた快適で安全・安心な住まいが、「住み続けたい」という思いを支え、コミュニティを育みます。



当社分譲地の事例より
住民同士の「はじめまして」をお手伝いするイベントの実施



地域の財産にもなる美しい外観と緑豊かな環境を備えた賃貸住宅

II 「浜松副都心構想」を満たし、副都心としての役割に貢献するまちづくりであること

20年先、30年先を見据えた浜北副都心の将来像を踏まえた「浜松副都心構想」に対して、計画地における取り組みは、区域内にある既存ストックを活かしつつ副都心としての機能充実を図る上で、下記のように役割を果たし、貢献します。

行政機能において 都心を補完する

- 事業対象地内の住戸は全棟「ZEH」とし、まち全体で省エネルギーを推進する
⇒ 様式13-I

- 既存の浜北体育館との連携による防災拠点としての機能
⇒ 様式12-I-①

- 良質な賃貸住宅を計画し、多世代の住まいと住まい手の循環を図る
⇒ 様式10-②、様式11-I-②
様式13-I-②

- 人生100年時代を見据えた安全・安心で可変性の高い住まいで、「住み続けたい」という思いに応える
⇒ 様式11-III-②

- 地域と接する部分に環境価値の高い住戸を計画する
⇒ 様式10-①、様式11-II
様式13-I-①

にぎわい、出会いを演出し 文化を創造する



みどり豊かな都市景観と 快適に暮らせる居住環境

- 東西の道路に対して中心性のある施設誘致と動線（フットパス）の確保で地域・人をつなぐ
⇒ 様式11-I

- 生活利便を高める商業施設を誘致し、地域の魅力をさらに向上させる
⇒ 様式6-II、様式10-③
様式11-I

- 緑あふれる環境と地域コミュニティのための仕掛けを計画地全体で提供する
⇒ 様式10、様式11-II

本件土地のもつ特徴を踏まえた取り組みとして

- 「美園中央公園」「貴布祢ふれあい公園」にほど近い立地
上記公園の緑と響きあう植栽計画を行います。 ⇒ 様式11-II-②

- 「浜北体育館」「なゆた・浜北」「浜北市浜北文化センター」にほど近い立地
防災イベントを実施（株式会社ビッグ富士協賛）し、コミュニティ醸成に寄与します。
⇒ 様式12-II

- 「市道浜北沼中央線」「市道浜北西美園2号線」に隣接
東西の道路に対して中心性のある商業施設誘致により、近隣の既存のクリニック等と相まって地域活性化を図ります。
⇒ 様式11-I



土地利用計画図



色 别	名 称	面積(m ²)	割合(%)
黄	戸建分譲地①	1143.28	12.97
黄	戸建分譲地②	1170.88	13.28
オレンジ	事業用地(賃貸住宅)	1254.49	14.23
ピンク	事業用地(店舗用地)	4938.16	56.01
緑	移管部分(公園) (公園内・フットバス)	305.49	3.47
グレー	帰属用地	3.95	0.04
	合 计	8816.25	100.0

I これまでの実績を踏まえた事業実現への具体的な考え方について

1 積水ハウスの複合開発事業の実績を本事業に活かします

複合開発・コンパクトシティ 「コモンステージ ミラまち」の開発

愛知県豊橋市曙町 開発許可:2018年3月
紡績工場跡地:約27ha、戸建400区画・商業施設 他

■ 地域貢献…豊橋市による「立地適正化計画」のもと、豊橋市とともに地域拠点のひとつ、南栄駅周辺地区の開発を担う
交通の流れをスムーズにするため、既存道路の拡幅、改良と、まちを南北に貫く中央幹線の整備を行いました。中央幹線には街路樹を植樹し、隣接する高師緑地と一緒にした緑地計画により、心豊かな環境が創出されています。

■ 環境配慮…「エコ・ファースト企業」として、未来を先取りした環境配慮

エネルギー収支「ゼロ」を目指す住まいとともに、この地に息づく豊かな自然を生かし、美しいまちなみを育てます。ソメイヨシノや大きなクスなど、この地の歴史をとどめる既存樹を公園のシンボルツリーとして活かしつつ、計画的な緑化を実施。美しい景観が形成されています。

■ 災害に強い…もしもに備えた、災害に強いまち

標高約22mの高台に立地、災害に強いインフラを整備しました。まちを無電柱化することで、災害時の緊急車両の通行の妨げ被害を軽減。信号機を使わない「ラウンドアバウト」を採用し、停電時も混乱を避けられます。また、防災井戸の設置など公園や広場に防災拠点としての役割を与えています。

■ 持続成長…笑顔が行き交うまちづくりで、活気ある暮らしを実現

積水ハウスのノウハウで、ソフト・ハードの両面からコミュニティを形成。住民はもちろん、このまちを訪れる方々が交流を深められる環境づくりを行っています。区画内の公園の緑は、住民組織の「管理組合」を通じて計画的に管理されます。年月とともに緑に溢れ、地域文化やコミュニティが育まれていく「経年美化」のまちを目指しています。

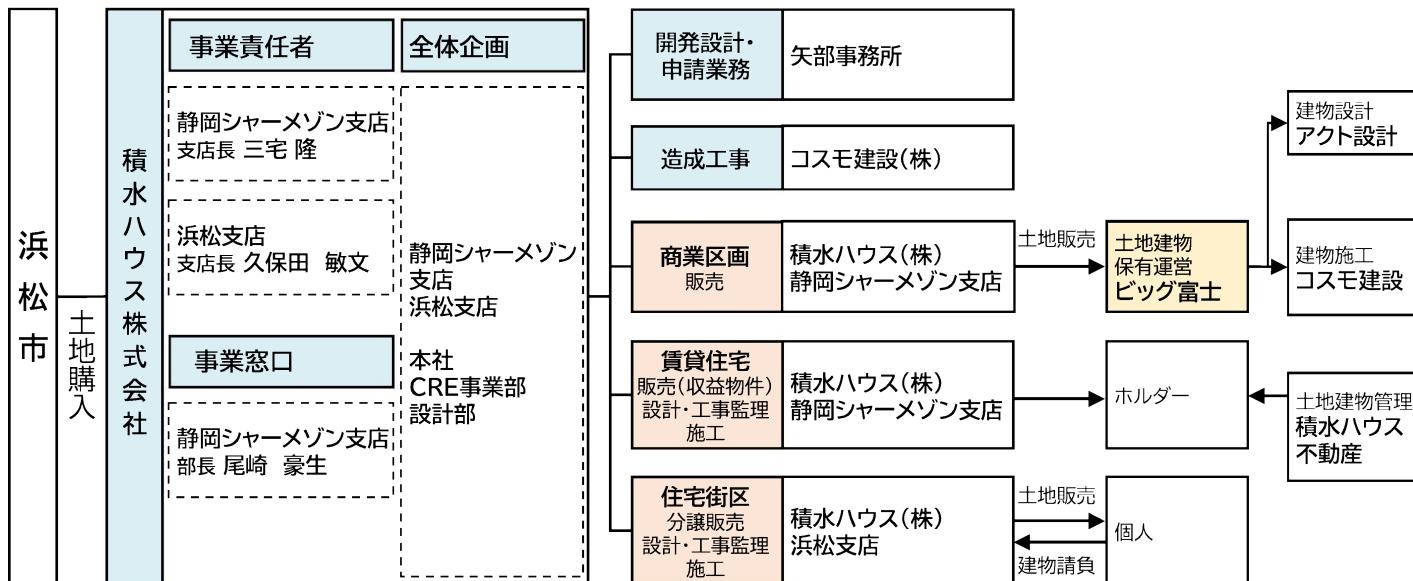


上記のように、積水ハウスでは複合開発事業を有機的に遂行してきた実績があります。

本事業を通じても、当該地周辺を含めたにぎわい創出や居住環境の向上、さらに防災拠点として機能することで、副都心にふさわしいまちづくりに取り組みます。

2 積水ハウスが代表企業となり、全業務に責任を持つ体制とします

代表企業、構成企業などの役割、責任の明確性、適切性について、相互モニタリングで品質管理しつつ、代表企業が全業務に責任を持つ体制とします。



II 事業実施体制において応募者の他に事業の運営を委託する者等の提案事業の根幹に関わる者について

浜松創業 『株式会社ビッグ富士』 の商業施設誘致によるにぎわい創出

商業施設を運営するのは、地元浜松の企業『株式会社ビッグ富士』（以下『ビッグ富士』と表記）です。1986年に浜松市にてスーパーマーケット「エブリィビッグデー」1号店を開店して以来、30余年にわたり「食を通じて地域に貢献したい、お役に立ちたい」との地元愛を持ち続け、2020年8月現在、静岡県下に24店舗、浜松市内に5店舗を展開しています。

このたび、浜北区役所跡地という、副都心として重要かつ地元の皆様にとっての思い入れのある場所への出店可能性を見据えて、旗艦店と呼ぶにふさわしい店舗施設の充実を図ると共に、会社の発展、さらには地域の発展を通じて、より多くの人々の食生活の改善と食文化の向上に貢献したいとの思いを強くしています。

■地域貢献… 地産地消、地元の雇用促進・創出を通じた貢献

- 地産地消はもちろん、地域に根差し、地域の方々の食生活の発展と向上に貢献できるよう食育活動を行っています。
- 企業コンセプトを「ご予算半分、買い物2倍」とし、家計における食費の削減をお手伝いします。
- 地域の雇用を促進し、地元出身者、高齢者（60歳～）、障がい者（条例における雇用比率以上の水準）を積極的に採用しています。

地産地消の取り組み

浜松市内の牛・豚生産者、農家の皆様と良好な関係をつくり、市場を通じた地産地消を推進します。お肉、海産物、青果物などの生鮮食品は、浜松食肉市場、浜松中央卸売市場を中心に仕入れを行い、加工食品、グロサリー食品も浜松創業の食品（源氏パン・カニばんなど）を優先販売するなど、地域の生産者さま、販売者、消費者さまの三方良しの関係を構築します。



■食育活動…食生活の改善と食文化の発展・向上に貢献

● 食を通じた健康づくり

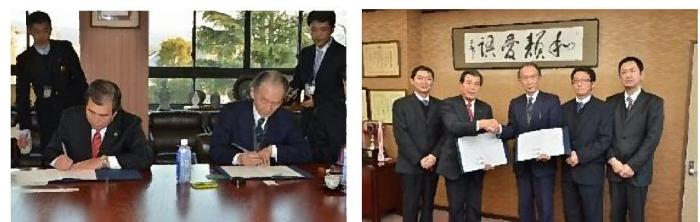
「医食同源」を掲げ、地域に必要とされる店づくりを目指しています。「美味しさ、安さ、新鮮さ」に加え、安全・安心の食材を提案し、いま求められている食品で免疫力や自然治癒力を高めて、医薬品に頼らない食生活や暮らしのご提案も行っています。

● 食に関する環境づくり

企業、団体と連携した食育を推進し、従業員研修や学校訪問などを通じ、食育を推進する人材を育成しています。地域行事への積極的な協力・出店など、地域の皆様との繋がりを深めています。

■三島市との災害協定の実績

三島市とビッグ富士は、平成25年1月に三島市役所において、「想定される東海地震や神奈川県西部地震の発生が懸念されることから、大規模災害が発生、又は発生する恐れがある場合における、食料等の迅速な供給に万全を期すため」災害協定を締結しました。ビッグ富士は、災害発生時、または災害が発生する恐れがある場合、災害協定に基づいた精肉、鮮魚、青果、その他の食料品などを、三島市の要請に応じ迅速に提供します。



III 資金調達の具体的な考え方について

事業資金はすべて積水ハウスの自己資金から調達

- 資金調達はすべて自己資金でおこないます（様式7「資金調達計画」参照）。したがって、事業資金の調達に関しては一切のリスクを排除しています。
- また、積水ハウスは事業費を大幅に上回る預金残高を有しており、自己資金調達する上でもまったく問題はありません。

単位：百万円

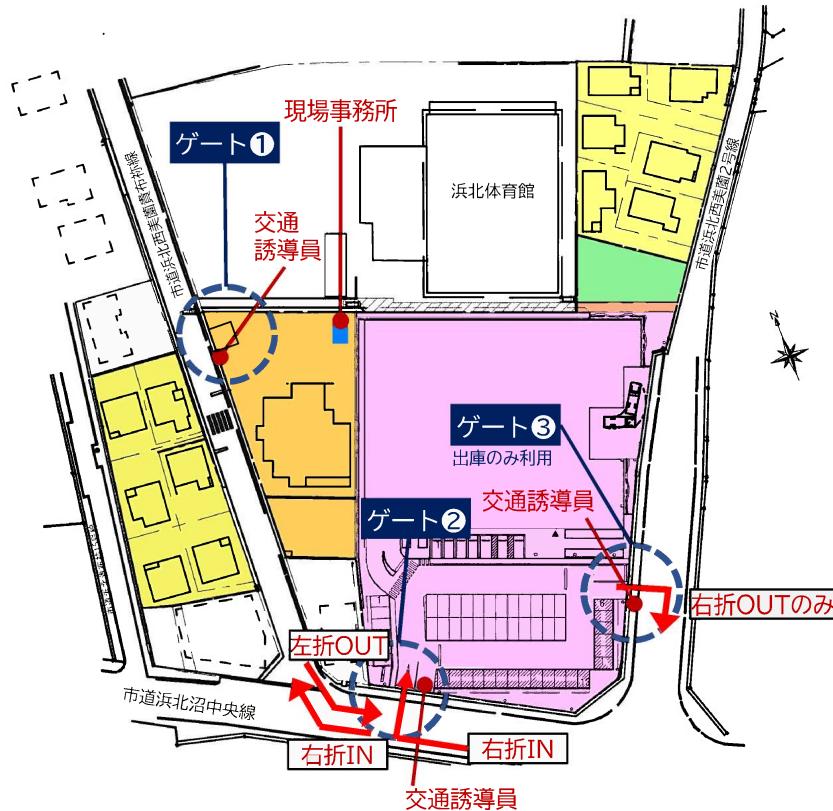
大項目	中項目	小項目	金額
資金			620
	自己資金		620
	借入金		0
		銀行借入	0
		社債等	0
	利息支払		0

I 造成、住宅の分譲時期に関する計画の適切性について

2022年9月の全戸入居に向けて、造成、販売の最適化計画と履行上の配慮を徹底します。

1 造成に関する計画

- 土地決済完了後、開発協議を開始します。これと並行して、地元住民への説明会を開催し開発工事の内容を説明、本事業への理解を深めていただきます。
- 32条協議は約1.5カ月で完了する予定です。調整池においては用途ごとに計画し、協議します。商業エリアは地下埋設方式で地上部の緑化、賃貸エリアはオープンな調整池を計画します。戸建街区は各住戸の浸透井で計画します。
- 戸建街区の造成は、分筆にともなう境界工事と各種インフラの引き込みを基本とします。街区ごとに高さ1.2mフェンスでの仮囲いと道路に対して安全配慮をしながら工事をすすめます。
- 商業エリアと賃貸エリアは造成工事時、高さ2.0mのパネルで囲い、ゲート管理を行い、交通誘導員を常設します。工事車両の入場はゲート①、ゲート②とし、右折入場、左折退場と致します。商業エリアにおけるゲート③は退場専用とし右折退場とします。
- 現場への入退場車両は、AM7:30～AM8:00までは通学路の配慮として入場禁止とします。(近隣説明で時間変更希望があれば対応致します。)また、退場時間はPM5:00以降とします。それ以前の退場に関しては交通誘導員の指示に従い安全に努めます。



2 販売から建築、入居までの計画

- 戸建街区・賃貸住宅は開発許可後、HP告知などの販売活動を開始します。建築条件付き宅地販売を行い、購入者にスマートシティモデルであることを説明、まちなみガイドライン(⇒様式11-II-①)に賛同いただいた上で契約、入居とつなげます。
- 商業エリアは開発許可後、大規模店舗立地法の申請、建築確認申請を行い制限解除後、建設工事の着手を予定しています。
- 2022年8月中に商業施設の工事完了、出店準備を行うとともに、戸建街区の販売完了、入居を目指します。9月1日「防災の日」をこのまち全体のまちびらきの日として防災イベントを計画、住民の縁づくり及び近隣地域との交流のきっかけとします。

II 事業の実施スケジュールについて

工程表

工程	2021年																													
	1月			2月			3月			4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月		
	10	20	30	10	20	30	10	20	30	10	20	30	10	20	30	10	20	30	10	20	30	10	20	30	10	20	30	10	20	30
所有者移転																														
補足測量																														
近隣説明																														
基本計画・事前協議																														
32条協議																														
開発本申請																														
大規模店舗立地法																														
造成工事																														
制限解除許可、開発検査済証																														

■住宅分譲区画

販売期間 12区画																													
施工期間 12区画																													
完成入居 12区画																													

■賃貸分譲区画

販売期間 1区画																													
施工期間 1区画																													
完成入居 14世帯																													

■商業施設区画

商業施設 建築確認申請																													
施工期間																													
OPEN準備																													

■開発工事・造成工事：該当敷地の仮囲い、工事車両進入路、警備員の配置。

■販売に関して:開発検査済証取得後、HP告知など販売活動を開始し、2022年9月にまちびらきコミュニティ活動を実施。

■9月1日:まちびらきに合わせて防災イベントを実施予定。

III 事業の遂行段階毎のリスクの考え方、リスク分担の考え方、リスク手当の考え方について

想定されるリスクへの対応策

工程全体の計画性を踏まえ、資金調達・安全性・遅延・説明責任などに伴なう各種リスクに対するマネジメントを実施します。

業務	想定されるリスク	予防策(回避策)	対応策
共通	金利変動	<ul style="list-style-type: none"> 自己資金での提案 	<ul style="list-style-type: none"> 積水ハウスが本事業を全て自己資金で賄い、金利ゼロで提案
設計段階	スケジュール遅延	<ul style="list-style-type: none"> 工程表等による問題点の早期確認 同等物件での対応表と照合 	<ul style="list-style-type: none"> 関係者間で定例会を適宜開催 工程表等による予実管理を実施
	事前調査・各種申請	<ul style="list-style-type: none"> 最新の建築関連法規・条例を逐次確認 地盤調査の早期実施 	<ul style="list-style-type: none"> 事業者の責任で増加費用に対処
造成工事 建設工事	工事中の事故	<ul style="list-style-type: none"> 未然防止教育を受けた専属技能者による責任施工(戸建・集合) 現場監理責任者を明確化、対応窓口を設置し、定例打ち合わせの実施 区画内巡回や点検を強化 	<ul style="list-style-type: none"> 保険を付保(賠償責任保険等) 保険でカバーできない損害は積水ハウスの負担にて対応 再発防止策を策定
	第三者への損害		
	近隣クレーム	<ul style="list-style-type: none"> 業務計画(事前説明会など)を整備・運用し、周辺住民から理解を得る 施工中も騒音・振動の影響のある工事の際は、事前通達を必ず行き、クレームを防止 	<ul style="list-style-type: none"> 日常の周辺住民交流から、事前にクレームを把握し、早期対処を行う。 浜松市と協議し、当グループが周辺住民・行政に迅速な対応を行う

近隣説明会(当社分譲地における実施例)



1 戸建住宅群『美しい景観づくり』

Concept(住宅Aエリア)『つながりがもたらす潤い』～各住戸の領域性を確保したゆとりあるまちづくり～

■ 旗竿敷地を広がりのあるコモンスペースに

専用通路の構成はA-②③宅地は抱き合わせ、A-⑤宅地と公園を隣接させたことにより広がりのあるコモンスペースとなります。住戸間隔を十分にとり、共有の緑をもつ豊かな景観を創ります。

■ セットバックしたゲート

専用通路にゲートを設け、コモンスペースの領域性を確保します。また、道路からの景観も豊かになるよう道路際からセットバックしてゲートを配置します。

■ ヒートアイランド対策

舗装材には透水性ILBを全面に使用し、美しい景観づくりとともにヒートアイランド対策を盛り込みます。

◇旗竿を共有したコモンスペース



事例;コモンライフ西大宮(埼玉)

◇ヒートアイランド対策



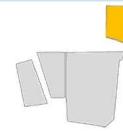
◇A-⑥ZEH 外観・内観写真



A-⑥ZEH 概要

延床面積	117.96m ²
住戸タイプ	4LDK
プラン特徴	柱がなく可変性の高い大空間リビング

住宅Aエリア区画概要	
総区画数	6区画
想定延床面積	120~130m ²
住戸タイプ	4LDK



Concept(住宅Bエリア)『便利で強靭なコミュニティ』～生活利便と防災機能を高めるまちづくり～

■ 東西の敷地をつなぐフットパス

商業敷地への動線確保により生活利便を高めます。また災害時に近隣住民の浜北体育館への避難経路として活用できます。

■ 防災拠点としてのコモンスペース

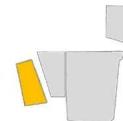
各宅地から直接アクセスできるコモンスペースは防災拠点として利用でき、緑豊かなコミュニティースペースとし、子どもたちの遊び場となるようにデザインします。

◇緑を共有する豊かな環境



当社事例

住宅Bエリア区画概要	
総区画数	6区画
想定延床面積	110~130m ²
住戸タイプ	4LDK



2 賃貸住宅

Concept(賃貸住宅)『道行く人の羨望を集める、まちのランドマーク』 ~全住戸ZEHの美しい賃貸住宅~

■ 時を経てランドマークとなる賃貸住宅

道路景観を美しく演出できるよう、西側の戸建街区の景観と響きあう外観・植栽計画を行い、地域に縁あふれる環境を創ります。

計画戸数	1棟14戸(1LDK×8戸/2LDK×6戸)		
駐車計画	20台		
1LDK	49.79~59.73m ²	延床面積	979.54m ²
2LDK	66.69~71.25m ²	高さ	10m以下

■ 多世代に対応できる広さ、タイプを用意

独立洋室やLD続き間など多様なタイプを用意。多世代、多様な価値観の入居者に対応します。全住戸ZEHで快適な生活を提供します。

■ 在宅ワークに対応した住戸・共用部

住戸内や共用部に、リモートワークに対応したスペースを計画し、新しい生活様式に対応します。

■ 地域の景観に配慮したアースカラーの外壁

地域の景観にやさしく溶け込み馴染むよう、建物外壁の色はアースカラーとします。

△緑あふれる都市景観



3 商業施設

Concept(商業施設)『普段はエコに、災害時はタフに』 ~副都心にふさわしい『エブリィビッグデー』旗艦店~

■ 地域に親しまれる緑化されたスーパー・マーケット

- 道路側の緑化を行い緑豊かな都市景観を創ります。
- 周辺地域の安全に配慮し、安心なコミュニティ空間を提供します。

延床面積 2591.0m ²	駐車台数 139台
高さ10m以下 (搭屋看板を除く)	駐輪台数 50台

■ スマートな設備を取り入れた施設計画

- 太陽光発電と蓄電池は周辺地域の非常用電源とします。駐車場にEV自動車対応の充電設備を設置します。
- 冷蔵ケース・冷蔵冷凍庫は省エネ仕様で消費電力を大幅削減します。
- 緑地帯に在来種を植樹し住宅エリアとの環境を整えます。



■ 災害発生時は避難所・防災拠点としての役割

- 浜松市と災害協定を結び、非常時には迅速に物品提供を行います。
- 災害時には駐車場を災害避難所として利用します。非常用電源により、常夜灯として明かりを確保します。

I 文化の創造、地域福祉サービスの充実や地域のにぎわい創出に貢献する取り組み

1 浜松創業の『ビッグ富士』誘致によるにぎわい創出・雇用促進

地域の魅力を高める施設の誘致

- 東西の道路に対して中心性のある場所に、浜松創業の『ビッグ富士』が運営するスーパー「エブリィビッグデー」を誘致。近隣の既存のクリニック等と相まって一層の地域活性化を図ります。
- スーパーの北側、東側の緑地帯にも戸建て住宅や賃貸住宅と同じく植栽を計画。さらに緑化フェンスや緑化ブロックを使用し、周辺環境に馴染むよう配慮し、文化的で美しい景観の創出に努めます。

2 「ここに住みたい」の憧れを喚起する賃貸住宅で、多様な世帯の居住循環を創出

賃貸住宅『シャーメゾン』による、地域の財産となる環境づくり

- 本件土地においては、戸建住宅のみならず、積水ハウスの賃貸住宅『シャーメゾン』を計画。まちや自然、住む人など、様々な視点から敷地環境を高める「5つの環境プレミアム」をコンセプトに、地域の財産となる環境づくりに努めます。
- 賃貸住宅の戸数も全棟「ZEH」にて計画(→様式13-I-②)。多様な世帯に対応できる広さや間取りを用意し、在宅ワークに対応した共用部も設けるなど(様式10-②)、快適で安全・安心に暮らせる住環境は「ここに住みたい」の憧れを喚起し、多様な世帯の居住循環をもたらすことで地域の活性化に寄与します。



II 快適に暮らせる居住環境の提供に貢献する取り組み

1 独自の『まちなみガイドライン』を用いたまちづくり

- 美しいまちなみには、建物や外まわりの印象づくりや植栽の配置などに、決め事やルールがあることが多いです。積水ハウスは、「まち全体の美しさ」を住民の皆様と共に育て、守っていけるように、分譲地ごとに「まちなみガイドライン」を作成。まちの理想像やビジョンを提示し、ご賛同いただくことで、将来に引き継ぐまちなみが実現します。
- 建物の壁面を道路境界から1m後退させて道路際の緑化スペースを確保。また、各宅地道路から3m以内に高木を積極的に植栽することで道路側を緑化します。



道路景観の緑の見え方や、建物や外構、道路ぎわの床材のデザインなど、その土地ならではの特性を踏まえて、美しいまちなみづくりのためのルールを分譲地ごとにご用意。

2 多様な自然環境を活用した景観・緑化のまちづくり

地域風土に根ざした植栽計画 ~『5本の樹』計画による庭づくり・まちづくり~

- 周辺の自然や里山に見られる樹木を庭木に採用し、地域に調和した環境をつくるため、積水ハウスでは、地域の気候や風土にあわせて厳選した日本の原種や自生種、在来種の樹による自然と調和した庭づくり・まちづくりに取り組んでいます。

※「5本の樹」計画とは、地域の在来樹種を庭づくりに生かす積水ハウス独自の生態系に配慮した庭づくり・まちづくりの提案です。「3本は鳥のために、2本は蝶のために、日本の在来樹種を」との思いが込められています。



緑豊かに成熟するまちづくり

- 数年先、数十年先を見据えた生活環境づくりの考え方を「経年美化」と名付け、子や孫へと永く愛され、受け継がれていく「まちなみ」づくりに取り組んでいます。



戸建住宅の材料に、天竜ヒノキの集成材を使用

- 地域のブランド材である「天竜ヒノキ」を木造住宅「シャーウッド」の構造柱や集成材として利用することで、近隣住民や工事関係者の方々にも、地域の風土に根差した国産材の魅力を感じていただけます。



III エネルギーや環境・ユニバーサルデザインに配慮した住宅の提供

1 環境配慮や安全・安心を支えるスマートな技術仕様

瓦型のオリジナル太陽光パネル採用による環境・景観への配慮

- 本計画地における住戸は全て、エネルギーの創出と消費の収支がゼロになる「ZEH」で計画します(⇒詳細は様式13)。
- 「ZEH」には大容量太陽光パネルの設置が必要ですが、敷地やプランにより屋根形状が複雑な場合は、一般的な大判のパネルでは容量確保が困難です。このため積水ハウスでは、瓦型のオリジナル太陽光パネルを採用し、複雑な形状の屋根にもたくさんのパネルを設置できるようにしました。さらに、瓦と一体化したパネルは目立ちにくく、建物外観やまちなみにも配慮されています。また、都市部を中心に増えている3・4階建て住宅では、屋根を直接支えられるピロティ柱を設け、建物形状によらずZEH化に必要な太陽電池パネルを設置できる大きな屋根をかけるなどの工夫をしています。

瓦型のオリジナル太陽光パネルの採用



やさしい空間設計 ~独自のユニバーサルデザイン『スマートUD』~

- 積水ハウスでは1970年代からバリアフリーを研究・実践。年齢や体格、体力の違い、身体機能の違いを超えて誰もが暮らしやすい住まいを提供することを目指して独自のユニバーサルデザインを構築してきました。2010年からはさらに、「触れ心地がよい」「操作感がよい」「見た目が美しい」といった五感に響く「心地よさ」まで追求した「スマートUD(ユニバーサルデザイン)」を推進しています。

スマートUDアイテムの一例



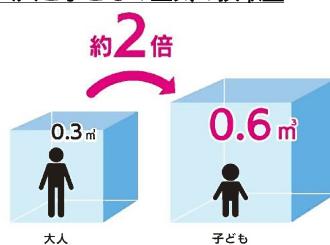
指のかかり具合や掴みやすさを検討し、微妙な曲線でデザインされた手すり。天然木の質感にもこだわった、身体にも心にもやわらかい仕様です。

『スマートユニバーサルデザイン』は、2010年度「グッドデザイン賞(生活領域/住宅設備部門)」を受賞しています。

やさしい空気環境 ~空気環境配慮仕様『エアキス』~

- 1日に呼吸する空気量について、体重1kgあたりで比較すると、子どもは大人の約2倍の空気を摂取しています※。それだけ空気中の化学物質の影響を受けやすい子どもを基準に、積水ハウスは、室内空気中のホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、スチレン、エチルベンゼンという5つの化学物質に対し、居住時の濃度を国の指針の1/2以下を目標としています。 ※ 出典:東京都福祉保健局「化学物質の子どもガイドライン(室内空気編)」

大人と子どもの空気の摂取量



空気環境配慮仕様『エアキス』は第8回キッズデザイン賞(子どもたちの安全・安心に貢献するデザイン部門)を受賞しています。

2 「人生100年時代の幸せ」を描く、可変性の高い住環境

家族の成長に合わせて新しい暮らし方をプラス ~可変性の高い大空間リビング『ファミリースイート』~

- 従来の「nLDK」の考え方を離れ、「1つの大きなリビング」で家族が思い思いに過ごす暮らし方の提案、それが「ファミリースイート」です。積水ハウスでは、天井高さ2.7m、柱無しの最大スパン7mの大空間を実現。個室にこもることなく、開放的な空間の中で家族がいつでもつながる暮らしを提供します。
- 柱が無く、可変性の高い空間のため、家族の成長に合わせて様々な暮らし方ができます。また、将来のリフォームの際も自由自在なプランニングが可能です。



育児も家事も心地よい場所で

子どもが誕生。畳コーナーとベビーべッドで、赤ちゃんと穏やかに過ごせる空間へ。

家族が見守る子どもの遊び場

幼児期。家具は置かず、子どもが安心して遊べるスペースへ。



7年後



家族の思い出をつくる場所に

ひな壇にクリスマスツリー。季節の行事、パーティを家族全員で楽しめる特別な場所に。

みんなで学び作業するコーナー

小学生時代。家族の気配を感じながら、勉強や好きなことに集中できる空間へ。



withコロナ時代の新しいライフスタイルにも柔軟に対応します

- 「在宅中の家での過ごし方調査(2020年5月当社実施)」によると、在宅勤務経験者のうち「今後も在宅勤務を続けたい(n=88)」方が86.4%でした。家での過ごしが変化しつつある今、長く住み続けられる住まいとして、密になりにくく、可変性の高い大空間の暮らし方が注目されています。

たとえば… ほどよい籠もり感のある在宅ワークコーナー



Image Photo

当社展示場の事例より

I 非常時の電源確保や災害時の地域住民への電源供給など、エネルギー面での防災に関する取り組み内容や、災害時における避難場所や物資の提供等のエネルギー供給以外の防災に関する取り組み

1 災害時の貢献・支援体制の取り決めを行い、地域の防災拠点として機能するよう取り組みます

ビッグ富士が浜松市浜北区と災害協定を結ぶ

- 災害発生時には災害協定に基づき「避難場所として敷地の提供」「常夜灯として明かりを確保(蓄電池&ソーラー)」「災害協定に基づく物品提供」を行います。また、災害時だけでなく、日ごろから市区と情報交換・連携し、大規模災害への備えを強化するとともに、災害に強いまちづくりを推進します。
- 地域消防署と連携し、浜北体育館をはじめ地域施設における防災イベント実施の際には、保存食をはじめ水・食料の提供を行います。

常夜灯として明かりを確保（蓄電池&ソーラー）



常夜灯のイメージ

地域の防災拠点として機能する

- 災害発生時には災害協定に基づき「避難場所としての敷地の提供」「常夜灯としての明かりを確保(蓄電池&ソーラー)」「災害協定に基づく物品提供」を行います。また、災害時だけでなく、日ごろから市区と情報交換・連携し、大規模災害への備えを強化すると共に、災害に強いまちづくりを推進します。

避難空間の確保	水・食料の確保	電力の確保
<ul style="list-style-type: none"> ・店舗駐車場の1階部分を開放することで、浜北体育館の避難スペースの圧迫を緩和します。 ・駐車場内で車中泊いただくことも可能です。 	<ul style="list-style-type: none"> ・災害協定に基づいた精肉、鮮魚、青果、その他の食料品などを、浜北区の要請に応じ迅速に提供します。 ・計画地内の公園の「かまどベンチ」を利用した炊き出しを実施します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・店舗の太陽光発電パネル+蓄電池で創られた電気を、スマートフォンなど各種電気機器の充電にご活用いただけるよう、コンセントを開放。各種USB充電ケーブルも常備します。

- 住宅Aエリアに、交流の場となる共有空間として、また、災害時には防災拠点となる公園を計画します。

計画予定設備

- ・幼児向けの遊具と見守りベンチ
- ・多世代利用を考慮した健康ベンチ
- ・実のなる樹の花壇(住民管理、収穫祭イベントを実施)
- ・花壇を眺めるベンチ

災害時には炊き出しができる「かまどベンチ」



Image Photo



Image Photo

断水時の災害用トイレ

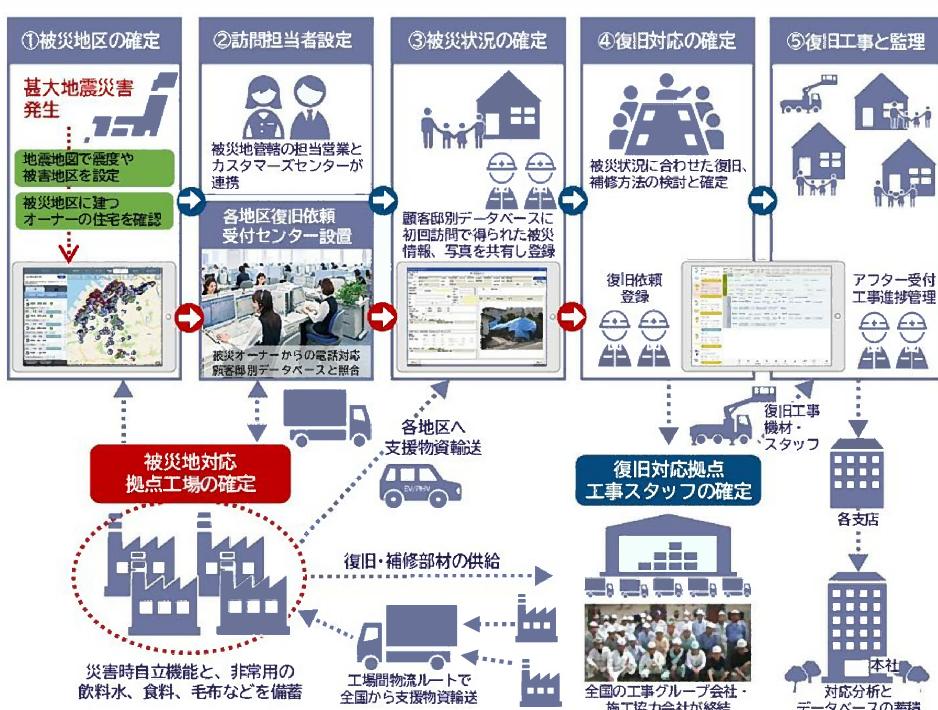


Image Photo

2 自然災害からの復旧・復興に向けた支援体制を整えます

積水ハウスの復旧・復興支援の体制

- 積水ハウスでは災害時、お客様の暮らしの迅速な復旧を目指し、情報から物流に至るまで災害に備えた体制を整備。また、自然災害時には、被災者の安否確認や支援体制の確立などにも迅速に対応しています。
- 地震発生時、積水ハウスの最寄りの拠点がオーナー様の安否確認や建物調査、支援物資の提供などを速やかに実施。オーナー様の被災情報はシステム上で社内共有が図られ、全国ネットワークを生かした復旧工事体制(工事機材・人員)が整えられます。
- 災害発生時、静岡工場を主要拠点とし、被災状況に応じて関東工場、東北工場など全国の工場と連携し、迅速に対応します。



東日本大震災の被災地における取り組み事例

- 住宅メーカーの社会的責任として、積水ハウスグループの総力を挙げて現在も復興活動を継続中です。

主な支援物資一覧(10tトラック89台分)

飲料水	348,000ℓ	ブルーシート	12,800枚
食料・主食系	292,000食	カセットコンロ	3,800台
食料・副食系	119,000食	カセットボンベ	14,800本
おむつ	45,700枚	衣類・毛布	9,600枚
カイロ	205,000個	土のう袋	17,000枚
バイク	150台		

地震発生

- 3時間後、積水ハウスの静岡工場の備蓄倉庫から被災地へ第1便トラックが出発



- 約2週間で高品質な仮設住宅を2,771戸建設

※他2,287戸のみなし仮設住宅（民間賃貸借上）も積和不動産東北㈱にて対応。

- 全国から延べ308,062人（2014年1月時点）が支援に赴き工事体制を強化。順次、被災建物の修復に着手。



II 地域住民とのコミュニティを醸成する取り組みについて

9月1日「防災の日」を基点にしたコミュニティづくりをお手伝いします

まちの住民同士の「はじめまして」をお手伝い

- 9月1日の「防災の日」を「まちびらき」とし、住民の皆様だけでなく、地域の皆様にとっても「災害に強いまち」と認識していただけるイベントを実施。このまちを中心とした安全・安心がつなぐ縁づくりのスタートをお手伝いします。
- まちびらきの日には、住民が管理する果樹を公園に植樹。収穫祭では高齢者をはじめとした近隣住民の方々にもお声かけするなど、地域との縁づくりのきっかけとします。
- 計画地内の公園や既存の浜北体育館を利用し定期的な防災訓練を通して、地域の皆様が自ら防災・減災のあり方を考え、理解する場を創出します。

【事例】子どもの主体的な学びを促す防災イベント

積水ハウスと産経新聞社、大阪ガスの3社で構成された「震災の経験を次世代に」実行委員会により展開される学習プログラム『防災キッズサポートプロジェクト』では、子どもたちが自ら防災・減災のあり方を考え、理解する場を創出しています。

住民の縁づくりイベント



実のなる樹の植樹祭・収穫祭



防災キッズサポートプロジェクト



「ジャパン・レジリエンス・アワード2019」
優秀賞を受賞



『防災キッズサポートプロジェクト』事例

I 事業対象地内の建物について、省エネルギー化の実施や再生可能エネルギーを活用すると共に、エネルギー マネジメントシステム等のスマート機能を導入することで、エネルギー自給率の向上に取り組むこと

1 戸建住宅は全棟【ZEH】とし、HEMSを活用したエネルギー制御にも取り組みます

全国トップクラスの日照時間を活かした太陽光発電を中心に、豊富なエネルギー資源を利用した再生可能エネルギーの導入を進めます。

全棟「ZEH」によるエネルギー収支ゼロ～積水ハウスのZEH『グリーンファースト ゼロ』による提案～

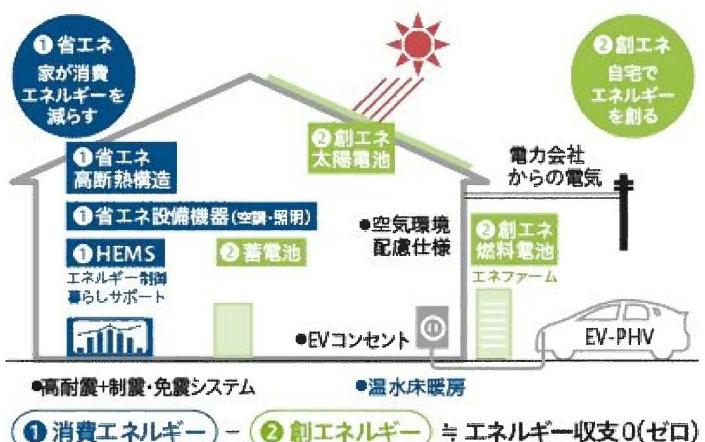
- 住宅の一次エネルギー消費量を正味「ゼロ」にするネット・ゼロ・エネルギー化に取り組む積水ハウスは、政府が2020年に標準的な新築住宅とすることを目指している「ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス(ZEH:ゼッチ)」を先取りする『グリーンファースト ゼロ』を2013年に発売。ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス(ZEH)『グリーンファースト ゼロ』推進活動の地球温暖化防止への顕著な功績が認められ、当社は「平成28年度地球温暖化防止活動環境大臣表彰」(主催:環境省)を受賞しました。積水ハウス浜松支店における新築戸建住宅の『グリーンファースト ゼロ・ZEH率』は、2017年から3年連続で80%以上を達成しています。

積水ハウス浜松支店の「ZEH」率※

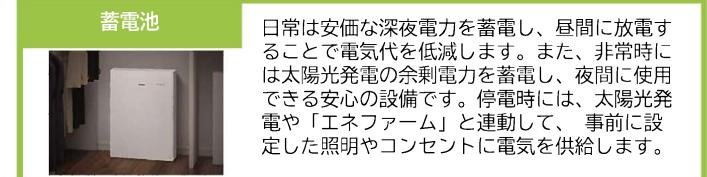
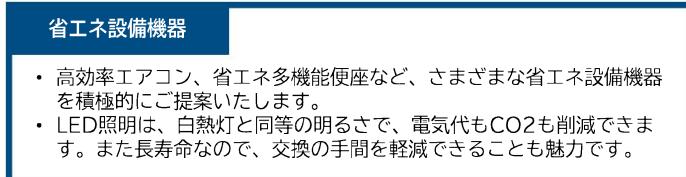
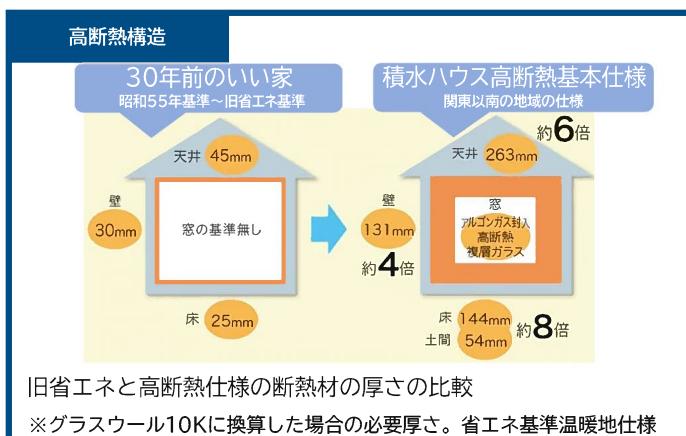
	通期(2月~1月)		
	契約(棟)	ZEH(棟)	ZEH率
2019年	153	132	86%
2018年	163	131	81%
2017年	165	134	81%

※ 戸建『グリーンファースト ゼロ』集計(請負・建売)による
※ 国のZEH定義に基づき、ZEHにはNearly ZEHを含む

積水ハウスのZEH『グリーンファースト ゼロ』の概要



- 積水ハウスのZEH『グリーンファースト ゼロ』は、快適な暮らしを維持しながら、断熱対策や設備機器の高効率化などで①「省エネ」を図り、従来の消費エネルギーを削減。残りのエネルギーを②「創エネ」機器の導入により自分で創る(発電)ことで、使用エネルギーを相殺してゼロ以下にすることを目指しています。



HEMSを活用したエネルギー制御

- 自宅の太陽光発電システムや 燃料電池で発電した電力を使用することで、居住時の大幅なCO2排出量削減が期待できますが、個々の設備の性能が良くて、誤ったスイッチ操作や機器の不具合によってうまく稼働していないければ、せっかくの創エネ・省エネ性能を発揮することができないばかりか、CO2削減効果が低減します。そこで、環境配慮型住宅「グリーンファースト」のうち、HEMSを採用した住宅について、3電池（太陽電池・燃料電池・蓄電池）の見守りサービスを2013年10月に開始。安定的な経済性と環境性の維持を支援し続けています。



2 賃貸住宅においても、入居者メリットを重視し、全住戸でZEHを達成します

- 家庭部門のCO2排出量の約3割は集合住宅から排出されており、その中でも賃貸住宅は大きな割合を占めるため、脱炭素化には賃貸住宅のZEH化も不可欠です。積水ハウスは戸建で培ったノウハウを生かし、賃貸住宅ブランド「シャーメゾン」で2018年1月、全住戸が『ZEH』※を満たす日本初の賃貸住宅を金沢市で竣工しました。その後、北海道から九州に至る日本各地で賃貸住宅ZEHを増やしています。
- 賃貸住宅のZEHには、共用部まで含めた住棟全体でゼロエネルギーを目指すZEH-Mと、戸建住宅と同様に住戸単位でゼロエネルギーを目指すZEHの2種類があります※。ZEH-Mは住棟全体の省CO2効果は高いですが、住戸単位がZEHである必要はありません。当社は賃貸住宅の入居者メリットを重視し、住戸単位でのZEHの普及に努めています。ZEH住戸が増えればZEH-Mの普及にもつながります。
- ZEH住戸では、高断熱による快適性、光熱費削減効果、災害時に電気が使える安心感といった多くのメリットがあります。居住者による評価を得て需要を高めることができれば、結果的に市場にZEH住戸が増え、地球温暖化防止につながると考えています。

※ 集合住宅のZEHには住棟全体を対象としたZEH-Mと、住戸を対象としたZEHがあります。再生可能エネルギーも考慮した一次エネルギー消費量削減率によって、削減率100%以上の『ZEH』『ZEH-M』、75%以上のNearly ZEH、その他2種類の計4種類があります。



賃貸住宅シャーメゾン(広島市)
全住戸：『ZEH』

3 戸建及び賃貸住宅の住戸部分における一次エネルギーの削減効果・CO2の削減効果について

上記を実施することにより想定される一次エネルギー削減効果やCO2削減効果等の定量的な効果は次の通りです。

一次エネルギーの削減効果 戸建住宅 76.3%、賃貸住宅92.6%

CO2削減効果 戸建住宅 61.0%、賃貸住宅61.6%

一次エネルギー削減率	基準一次エネルギー消費量 GJ	設計一次エネルギー消費量 GJ	一次エネルギー削減量 GJ	一次エネルギー削減率 %
戸建住宅 12戸	1,074	255	819	76.3%
賃貸集合住宅 14戸	562	42	520	92.6%

※住宅の計算はエネルギー消費性能計算プログラムによる。ZEH判断方法に基づき、上表ではその他負荷は考慮していない。設計一次エネルギー消費量には太陽光売電分を含む。賃貸集合住宅の評価には共用部は含まない。戸建て住宅はモデル住戸×戸数による概算。

■ 電力省エネ率、電力自給率	基準		設計			(C+D)/B
	A	B	C	D	(A-B)/A	
電力消費量 kWh	電力消費量 kWh	コジェネ発電量 kWh	太陽光発電量 kWh	電力省エネ率 %	電力自給率 %	
戸建住宅 12戸	101,388	72,321	0	51,392	28.7%	71.1%
賃貸集合住宅 14戸	54,203	44,076	0	37,968	18.7%	86.1%

■ CO2削減率	基準			設計			(E-F)/E
	A	E	B-C-D	F	(E-F)/E		
電力消費量 kWh	ガス消費量 (LPG)GJ	CO2排出量 t-CO2	電力収支 kWh	ガス消費量 (LPG)GJ	CO2排出量 t-CO2	CO2削減率 %	
戸建住宅 12戸	101,388	337	63.16	20,928	255	24.61	61.0%
賃貸集合住宅 14戸	54,203	244	36.93	6,108	193	14.17	61.6%

モデル棟での取り組みとして

戸建住宅のモデル棟は「太陽光発電」「燃料電池」「蓄電池」を推奨し、『防災ゼロエネルギー住宅』に

地震には、震度7相当を想定した「高い耐震技術や制震技術」で備えます。(耐震等級※3以上標準)。3電池住宅では、発電と蓄電の組み合わせにより、停電時でも日常に近い暮らしを送ることができます。3電池を搭載した住宅は、停電の夜にもまちに明かりを灯し、不安を和らげます。

※耐震等級とは、地震に対する建物の強さを表す等級のこと。

3電池搭載で可能となる災害発生以降の生活イメージ

1 生活空間の確保 災害発生時

震度7相当への対応を想定した「高い耐震技術や制震技術」で備えます。



2 水・食料の確保 3~5日間

災害発生後に物流が途絶えても最低3日間は生活維持できる水や食料、さらに雨水タンクでトイレ用水を確保。



3 電力の確保 1週間~数カ月

太陽電池+燃料電池+蓄電池の3つの電池の組み合わせで、エネルギーをつくり、蓄え、生活を維持。



3電池搭載で自給可能となる設備容量のイメージ

昼夜 1週間~数カ月 使用可能な設備 ■使用可能 ■機能・調整により使用可能

安心して使用できる電力の目安	2,000W
2,000W	

イバータ冷蔵庫	TV	スタンド照明	照明	スマホ	扇風機	風呂・シャワー	洗濯機	コンロ	エアコン
200W	250W	20W	50W	30W	30W	160~280W	400W		800W ※2

※1 消費電力が供給電力を少しでも超えると電気は止まります。利用できる最大電力に対し余裕を持つことで安心して利用できます。
※2 審査システムの種類により稼働できるエアコンの機種が異なります。



3 商業施設における省エネルギー化の実施や再生可能エネルギー活用の取り組み

- 売り場照明 … 天井照明、サイン、スポットライト、ショーケースの棚下照明にLED照明を積極的に活用します。
- 冷蔵ケース、冷蔵・冷凍庫 … 温度変化を制御し、運転効率を上げて省エネ化を図る「電磁膨張弁」を採用したエコロジー設備を導入します。
- 室外機に自動散水機を採用 … 気温が上がると、熱をもって熱くなる室外機に自動で水をかけ、夏場の負荷軽減に努める自動散水機を採用します。
- 再生可能エネルギー … 施設屋上に太陽光発電パネルを設置、蓄電池と組み合わせることで効率的な電気の使用を目指します。

省エネ冷ケースと照明のLED化イメージ



(例) 店舗内照明をLED化した場合とそうでない場合の削減率



- 上記を実施することにより想定される一次エネルギー消費量(BEIm)は次の通りです。

建物の名称	(仮称) エブリィビッグデー浜北店	
仕様検討年度	2010年旧仕様検討	2020年新仕様検討
一次エネルギー消費量(BEIm)	0.95	0.82 0.13 改善

※商業施設の計算結果はモデル建物法入力支援ツール(平成28年省エネ基準用)による。
参考:一次エネルギー削減率(1-0.82/0.95)×100=13.6% 約14%削減

II 事業対象地内においてICT等を活用しエネルギーの効果的利用や業務・サービスの効率化に取り組むこと

商業施設におけるEV車推進及びエリア物流のICT化の取り組み

- 駐車場の一部にEVコンセント充電設備つきとしてEV車推進に協力します(2台分程度)
- エリア物流のICT化により、地産地消による仕入れ情報などを関連会社や店舗間で共有し、適切な配送、販売を連携して実施します。

駐車場にEVコンセント充電設備を設置



image

非常時の電源確保や災害時の地域住民への電源供給等防災面の取り組み

- 太陽光発電で日中発電した電気を蓄電池で貯め、夜間は蓄電池から電力を供給し、外灯に使用します。日頃よりまちの明かりとして防犯機能を向上させるとともに、災害発生時や停電発生時にも安全・安心な明かりを皆様にお届けします。

『RE100』の活動を通じ、2040年までに事業活動で使う電気を100%再生可能エネルギーにする取り組み

- 積水ハウスでは、持続可能な社会構築のために、「脱炭素宣言」を行い、ZEHの普及などを推進。その一環として積水ハウスの建物にお住まいで、卒FITを迎えた皆様の余剰電力の買取サービス(積水ハウスオーナーでんき)を行っています。
- 「積水ハウスオーナーでんき」は、国による買い取り期間の10年を過ぎたあとも太陽光発電の余剰電力を電力業界最高水準※1で買い取る制度です。
- 買い取させていただいた電力は「RE100」※2の達成のために積水ハウスグループの事業活動に活用することで、オーナーの皆様と共に地球温暖化防止に寄与することを目指しています。

『積水ハウスオーナーでんき』の概要

当社設置の年間総発電量

約700GWh

太陽光発電システムを設置した住宅

11円/kWhで買取

太陽光発電の余剰電力

積水ハウスグループの年間事業用電力

約120GWh

オフィス 工場 展示場

「RE100」の達成

事業用電力として有効活用



※2 「RE100」は事業活動で使う電力の100%を再生可能エネルギーで調達することを目指に掲げる、世界の主要企業が加盟する国際イニシアチブです。積水ハウスは2017年10月に、建設業界では国内で初めて「RE100」に加盟しました。

※1 令和2年8月現在。「電気契約が必要」や「蓄電池設置」などの付随条件がない場合。

I 市に提供可能なデータの内容・方法、提供頻度、提供期間や市に協力可能なスマート化に関する情報提供の内容・方法等について

1 住戸及び商業施設のエネルギーデータを提供します

- ZEH住戸における居住後2年間のエネルギーデータの提供を検討します。
- スーパー店舗における省エネの取り組みについても、実施内容及びエネルギーの月間データ等の提供を通して成果を開示します。

2 スマート化に関するオーナー意識調査や、防災グッズの販売実績等の報告を実施します

積水ハウスオーナー専用サイト『Netオーナーズクラブ』での調査実施

- 積水ハウスオーナー専用サイト『Netオーナーズクラブ』にて、住まいやまちのスマート化に関するテーマで意識調査を実施します。
- 調査結果は、積水ハウスの社内情報媒体『データぱる』等に掲載し、浜松市の要請に応じて開示します。

積水ハウスオーナーサイト『Netオーナーズクラブ』



調査結果の編集紙面（イメージ）



積水ハウス社内情報媒体『データぱる』の例

商業施設における防災グッズの販売実績等の報告

- 災害協定での取り決めに準じて、防災グッズ販売実績の年次報告を行います。

3 地震発生時の被害地区や被災状況の情報を適宜共有します

- 地震発生時には、積水ハウスの管理システム上に集約された被害地区や被災状況の情報を、要請に応じて適宜共有します。

災害発生時における積水ハウスの復旧支援体制の初動



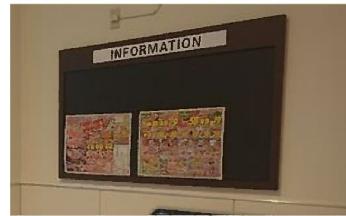
II 本事業に関する情報発信の取り組みについて

「災害時に頼れる拠点」であることを、地域住民の皆様に周知します

災害協定の詳細について地域住民に周知

- 地域の皆様に「いざという時に頼れるスーパー」とご認識いただけるよう、日頃の買い物の際に目に触れやすいスーパー店舗内の掲示板に、浜松市との災害協定の詳細について告知します。

スーパー店舗内の掲示板での情報発信



災害時に地域の皆様のお役に立てるこを、平常時から周知徹底。

「防災の日」にちなんで防災意識を啓発

- 毎年9月1日の「防災の日」にちなんで、その前後の期間、ビッグ富士ホームページ及び店舗にて、防災グッズの販売、保存食活用のレシピ公開など、地域の家庭での防災意識を高める情報発信を行います。

ビッグ富士公式ホームページで情報発信（非常食レシピの公開等）

The screenshot shows the homepage of the Big Fuji official website. It features a large banner at the top with meat products. Below it are several promotional sections: one about disaster prevention, another about new COVID-19 measures, and a third about food safety. The bottom of the page has a footer with links to various departments like food safety and product information.

【非常食レシピ（一例）】

やきとり缶詰めと温泉卵の鶏めし



Image Photo

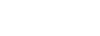
非常食パンでチョコラスク



Image Photo

「防災の日」にちなんで販売する商品群（一例）

A promotional poster for the 'Disaster Prevention Day' event. It features a grid of various products with their prices: ハラフ (Harafu) 750円, ナチュラルミネラルウォーター (Natural Mineral Water) 298円, ルワン保存缶 (Luan Preserved Can) 158円, ミックスパック (Mix Pack) 198円, ダダ (Dada) 788円, ブリオ (Brio) 628円, キントール (Kinto) 518円, アイスクリーム (Ice Cream) 2割引 (20% off), and カー (Car) 178円. The poster also includes text in Japanese: 「9/1は防災の日 購えあればいいない」 (9/1 is Disaster Prevention Day, it's good to have) and 「★カーパークの4割引!!! (一部商品除きます)」 (★Car Park 40% off!!! (Some products excluded)).



買取希望価格書

様式15(1/1)

2020年 8月 31日

浜松市長様

浜北区役所跡地等の買受希望価格を下記のとおり見積ります。

¥	億	千万	百万	十万	万	千	百	十	円
	6	2	0	0	0	0	0	0	0

応募者名 (代表企業)	(法人名)
	積水ハウス株式会社
	静岡シャーメゾン支店
	(代表者)
	三宅 隆 印
	(所在地) 〒422-8062 静岡市駿河区稻川2丁目1-1
	(電話番号) 054-284-1311